

令和5年

自治会支援の在り方に関する意見交換会

日野市

企画部地域協働課





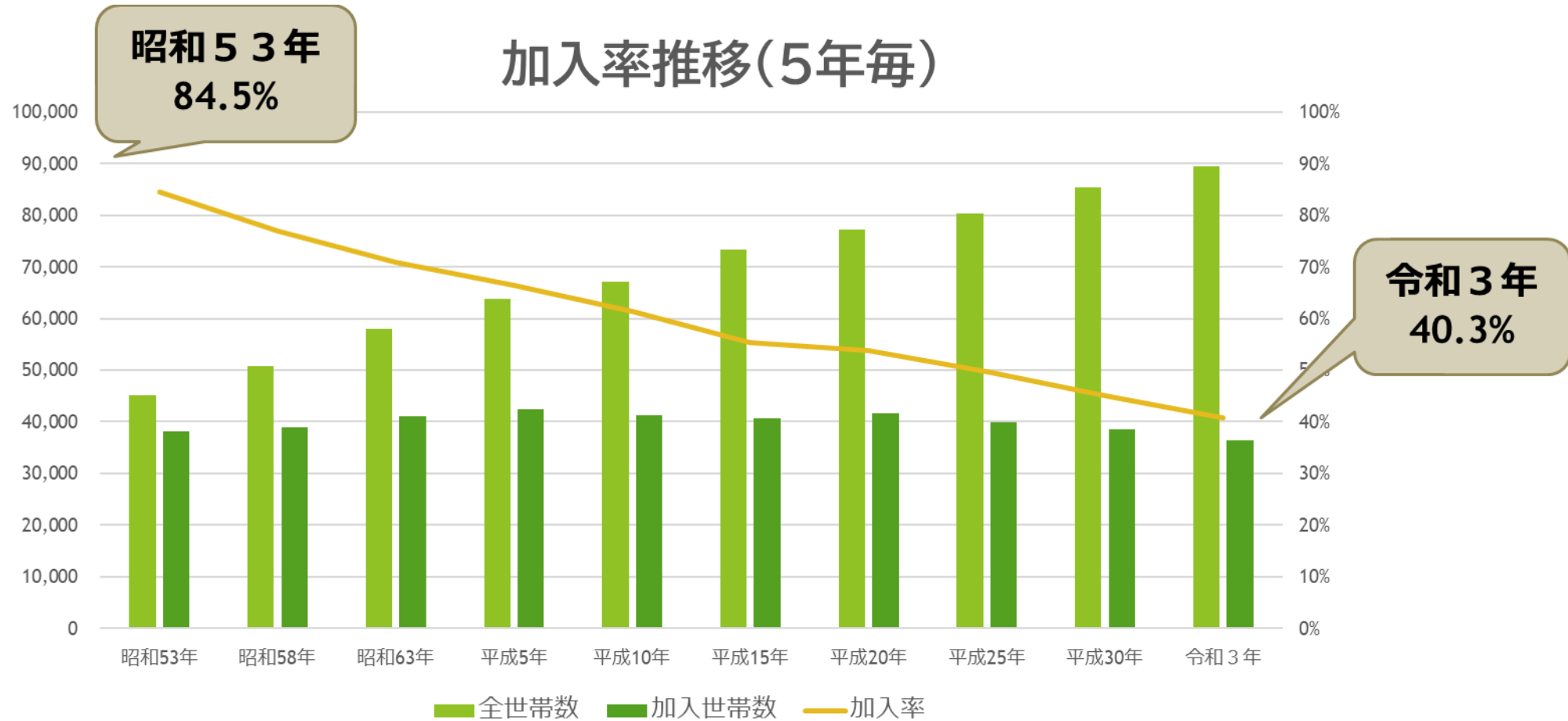
自治会の活発な活動は、うるおいある地域生活を育むだけでなく、安全・安心なまちづくりにおいても重要な役割を果たし、**住みやすい地域社会をつくるための自主的な組織。**

- 親睦を深め、連帯意識を高めて、住民どうしの心を豊かにします。
- 顔見知りが増え連帯感が高まることにより、防犯面や災害などの緊急時にも助け合いがスムーズに行えるようになります。
- 地域の美化活動や見守り活動を行って、快適で安全な生活環境をつくります。
- 地域の問題点などを行政に要望する、意見反映のパイプ役。
- 地域の日常生活に共通する課題を、住民どうしで協力して解決。

自治会支援の在り方



令和4年度 速報値 自治会加入率約39%





自治会の課題

自治会アンケート結果（令和4年実施 回答率60%（141自治会/235自治会）

■自治会の抱える課題について、どのようなものが考えられますか。
（上位3つまで）

理由	件数
自治会員の高齢化	93
役員のなり手がいない	79
加入者が減っている	67
役員の負担が大きい	39
特定の会員しか参加しない	31
会員が無関心で協力が得にくい	20
防犯・防災	18
活動内容の慣例化	15
行政からの依頼事項が多い	13
高齢者の見守り	12
その他（自由記述）	10
自治会員の活動時におけるケガ・事故への補償	7
予算が少ない	7
困った時の相談先がない	3



■自治会活動を行うにあたって負担と感じる業務はありますか。（上位3つまで）

理由	件数
会長・役員を選出や交代時の引継	74
書類作成（市役所等への提出書類や自治会の総会資料など）	68
回覧・配布物	55
新規加入の勧誘や退会者の引き留め	39
お祭りなどのイベント開催	26
会議への出席（役員会や総会）	22
会費の集金や管理	20
市事業への参加	18
その他（自由記述）	7



■自治会で取り組むべき地域課題で特に重要と考えるものは何ですか。
(上位3つまで)

理由	件数
地域の防災に関すること(防災訓練や備蓄など)	100
地域の美化に関すること(清掃活動など)	63
高齢者に関すること(見守りや居場所づくりなど)	56
地域のコミュニケーション促進に関すること(お祭りや運動会など)	47
地域の防犯に関すること(防犯パトロールや子どもの見守りなど)	44
回覧や情報の伝達に関すること	36
子どもに関すること(子ども会の支援や学校との連携など)	17
その他(自由記述)	7



現在の自治会支援

1 加入促進、資料、自治会交流会、物品貸し出しによる支援

- YES 自治会！
- 自治会運営ハンドブック
- 自治会交流会の実施
- 物品貸し出し
オンライン会議セット、スマートフォン、テント、長机、椅子
有線マイク、スクリーン、プロジェクターなど

2 補助金による支援

- 自治会補助金
- 自治会活動インセンティブ補助金
- 自治会集会所補助金



自治会アンケート結果（令和4年実施 回答率60%（141自治会/235自治会）

■自治会の運営資金は足りていますか。

運営資金状況	回答数
余裕はないが賄えている	97
十分足りている	32
少し足りていない	8
全く足りていない	3



■自治会補助金の主な用途をおたずねします。該当するもの（上位3つまで）

補助金の用途	回答数
自治会運営に係る事務経費(会議費、通信費、印刷費、消耗品費等)	82
地域の防災に関する経費(防災訓練や備蓄など)	71
地域の美化に関する経費(清掃活動など)	71
地域のコミュニケーション促進に関する経費(お祭りや運動会など)	59
回覧や情報の伝達に関する経費	27
高齢者に関する経費(見守りや居場所づくりなど)	14
地域の防犯に関する経費(防犯パトロールや子どもの見守りなど)	12
子どもに関する経費(子供会の支援や学校との連携など)	10
その他	7



■特に補助金の必要性を感じている内容をおたずねします。（上位3つまで）

補助の必要性	回答数
自治会の事務(会議費、印刷費、通信費など)に対する補助	71
自治会の年間行事(お祭りや防災訓練)に対する補助	67
市から依頼される事務等(回覧、清掃活動など)に対する補助	59
一時的に高額が必要な時(備品購入など)の補助	44
会員同士の親睦に関する補助	36
新たな取り組みを始めるための補助(初動を助ける補助)	17
非会員への加入促進事業に対する補助	10
他自治会や他団体と連携した取り組みに対する補助	8
その他	8



自治会支援の課題

現在の自治会支援の課題

参考 令和3年度自治会補助金

1 自治会補助金の課題

自治会区域内の全世帯数（加入、未加入）に対し交付しているため、未加入世帯が多い自治会と少ない自治会に対する補助額の不公平感

	加入世帯数	未加入世帯数	総世帯数	補助額
A自治会	600世帯	100世帯	700世帯	168,000円
B自治会	400世帯	2,000世帯	2,400世帯	576,000円
C自治会	400世帯	50世帯	450世帯	108,000円
D自治会	100世帯	800世帯	900世帯	216,000円
E自治会	100世帯	50世帯	150世帯	36,000円



自治会支援の課題

2 インセンティブ補助金の課題

【自治会】

- 交付額や交付時期が未定のため、事業計画が立てられない
- 申請書類が多く複雑でわかりづらい
- 交付額が減額されたことにより予定していた事業ができない

	予算額	申請団体数	交付希望総額	交付団体数	交付を辞退した数
令和2年	2,000,000	20団体	1,778,830	20団体	0団体
令和3年	1,500,000	26団体	2,399,000	26団体	0団体
令和4年	1,500,000	36団体	3,403,000	29団体	6団体

【地域協働課】

- 自治会からの申請額に対して、希望額を交付できていない
- 事業提案書等で交付の採択・交付額を決定することは難しい



自治会の課題と支援の在り方

日野市では、「第6次行財政改革大綱実施計画」に基づき、行財政改革に取り組んでいます。同大綱では、自治会支援の在り方を見直し、活性化のための自治会補助金制度の見直しを取組としています。

日野市では、自治会支援策とし補助金のほか各種自治会支援を行っています。

社会情勢が変化する中、行政サービスに対し求められるニーズも変化しており時代の変化や多様な地域の課題に柔軟かつ的確に対応することが求められています。

地域協働課では、市で決定した制度を自治会の皆さんにお願いするのではなく、自治会の皆さんと一緒に自治会支援の在り方を意見交換し、効果的な自治会支援策を構築し、新たな自治会支援制度へ移行していきたいと考えています。



自治会の課題と支援の在り方

自治会の課題に関する意見交換

- 自治会が抱える課題や負担、取り組むべき地域課題などを解決するためには、どのような支援が必要か



自治会の課題と支援の在り方

今後のスケジュール予定

